

令和2年度 郡山ヘアメイクカレッジ
学校関係者評価報告書

学校関係者評価報告責任者: 学校長 土屋郁子

1. 学校関係者評価委員

- ①菅野 功一 株式会社菅野二郎商店 代表取締役
- ②厚美 直樹 N/hair design代表 卒業生
- ③土屋 郁子 郡山ヘアメイクカレッジ 学校長

2. 学校関係者評価委員会の開催状況

- 第1回委員会 令和 2年 9月 7日 本校会議室
- 第2回委員会 令和 3年 3月 29日 本校会議室

3. 学校関係者評価委員会報告

①学校の教育目標

「専門教育」と「社会的応用力の育成」に加え、これからの時代に必要不可欠であるグローバルスタンダードな観点から「国際化教育」「情報化教育」を深め、幅広い視野と確かな応用力を備えた創造性豊かな人材育成を目標とする。

- 確かな専門技能と応用力を身につけ、美容界で活躍できる人材を育成する。
- 自ら挑戦し、課題を発見し、これを解決する能力を持ったリーダー(けん引者)となる人材を育成する。
- 社会貢献・地域貢献の精神を持ち、幅広い社会性を備えた人材を育成する。

②本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

【令和2年度に定めた課題事項】

- サービス業の基本であるコミュニケーション能力(言葉遣い・マナー・礼儀・返事・あいさつ)を高めさせる。
- 学力、技術面における個人差を少しでも無くし全体的なレベルアップ及び意欲的に資格取得をめざす意識づけをする。
- 専門技能と応用力に加え積極性を身に付け、美容業界で望む人材を育成する。
- 教職員のレベルアップとニーズにあわせた授業・カリキュラムの構築。
- 「夢プランシート」を作成させ、将来的な夢や目標をもたせる。

(1)教育理念・目標

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
・学校の理念・目的・育成人材は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)	4	③	2	1
・学校における職業教育の特色は何か	4	③	2	1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	③	2	1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者に周知されているか	4	③	2	1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④	3	2	1

①課題

- ・コロナの影響もあり意識的に大きな声であいさつ指導をしなかったためか基本的なマナーが例年よりできていないと思う。
- ・学生本人の意識・やる気を出させるか。

②今後の改善方策

- ・大きい声ではなくとも、はきはきとした返事やあいさつの練習と意識付けをしていく。
- ・目標を持ってやっている学生、そうではない学生とむずかしい。

③特記事項

- ・特になし

④学校関係者評価委員コメント

- ・特になし

(2) 学校運営

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	・目的等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	③	2	1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	③	2	1
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	4	③	2	1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	③	2	1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	③	2	1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④	3	2	1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	③	2	1

①課題

・コロナ対策の強化

・時代に合ったSNSなどを活用した情報公開をしてくれている。→就職活動にも上手に取り入れたい。

②今後の改善方策

・コロナ禍で県外サロンへの見学やガイダンス参加が難しいので、インターネットを活用したものにしていきたい。

③特記事項

・特になし

④学校関係者評価委員コメント

・特になし

(3) 教育活動

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	③	2
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	③	2	1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	③	2	1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	③	2	1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	③	2	1
・関連分野における実践的な職業教育(産業連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4	③	2	1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	④	3	2	1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	③	2	1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	③	2	1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	③	2	1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務)を確保するなどマネジメントが行われているか	4	③	2	1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	③	2	1
・職員の能力開発のための研修が行われているか	4	③	2	1

①課題

・コロナ禍のため少人数での授業のため教員の授業時間数が多くなり、授業準備、打ち合わせの時間が取りづらい。

・効率的なオンライン授業への取り組み。

・成績が良くない生徒をどのように向上させるか。

②今後の改善方策

・放課後の個別対応やプリント類等を使い勉強をする環境をつくる。

・オンラインで充実した授業ができるように、計画的な授業内容にする。その準備が必要。

・指導力育成など資質の向上に取り組む。

③特記事項

・特になし

④学校関係者評価委員コメント

・興味を持って入学してくると思うので、興味を裏切らない授業や方策が必要である。

(4) 学修成果

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	・就職率の向上が図られているか	④	3	2
・資格取得率の向上が図られているか	4	③	2	1
・退学率の低減が図られているか	4	③	2	1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	③	2	1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか	4	③	2	1

①課題

- ・就職に関してはコロナ禍の中、県外に行きたくてもいけない学生がいて動けない状態。
- ・退学者の退学していく理由が社会人としてというまえに目標をもって入学してきているのかその前の段階であり近年の退学者に多い指導がむずかしい。
- ・通信教育生の退学について
- ・コースでの各資格合格率
- ・就職活動が遅い生徒や意欲が少ない生徒への対応。

②今後の改善方策

- ・個別の進路相談を回数を増やし、将来のイメージをさせていく。
- ・昼間生は更に人数が増えるため選択コースの授業も工夫していく必要があると思う。
- ・本年度も行ったがメンタル面の教育的授業をもう少し時間を取る。
- ・県内でも美容師はできる。美容室への就職を促す。

③特記事項

- ・特になし

④学校関係者評価委員コメント

- ・特になし

(5) 学生支援

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④	3	2
・学生相談に関する体制は整備されているか	4	③	2	1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④	3	2	1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	③	2	1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	③	2	1
・学生の生活環境への支援は行われているか	4	③	2	1
・保護者と適切に連携しているか	4	③	2	1
・卒業生への支援体制はあるか	4	③	2	1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	③	2	1
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	③	2	1

①課題

- ・技術大会など参加意欲の高い生徒が良い成績を残せるようどのように指導していくか。
- ・コロナ禍での就職活動。
- ・学生の抱える問題などももっとスムーズに保護者と連携して、学生をサポートする。

②今後の改善方策

- ・学生数が増えて大変ではあるが、個別進路相談をできる限り行う。
- ・本人の練習する努力もちろんだが、適切なアドバイスや練習方法など大会のことについて更に研究してサポートしていく。

③特記事項

- ・特になし

④学校関係者評価委員コメント

- ・ライバルにならない異業種との交流などで感性が豊かになる。

(6)教育環境

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	④	3	2
・学内外の実習施設・インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	③	2	1
・防災に対する体制は整備されているか	④	3	2	1

①課題

- ・コロナ禍に加え、入学者増のため教室の密がさけられない。教室の使い回し。
- ・コロナ禍が続いている中で、感染者、体調不良者をださないようにするか。
- ・今年度実施できなかった詳しい防災訓練。

②今後の改善方策

- ・オンライン等の実施により教室確保。
- ・エアコンでの温度調節、換気、使用した物の消毒など今までのように徹底し、生徒にも心がけさせる。
- ・特に消火器の使い方の指導、火事だけでなく地震の時の対応も必要だと思う。

③特記事項

- ・特になし

④学校関係者評価委員コメント

- ・特になし

(7)学生の受入れ募集

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	・学生募集活動は、適正に行われているか	④	3	2
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④	3	2	1
・学納金は妥当なものとなっているか	④	3	2	1

①課題

- ・体験入学やヘアショーなど参加していただいた学生に楽しんでいただけるようにする。
- ・生徒の状況など把握して入学させるかどうかの判断をする。

②今後の改善方策

- ・細かい気配りやスムーズな対応など職員、生徒が協力してできるよう打ち合わせなどしっかり行う。
- ・成績、出席日数など確認する。場合によっては高校に連絡など。

③特記事項

- ・特になし

④学校関係者評価委員コメント

- ・特になし

(8)財務

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④	3	2
・予算・収支計画は、有効かつ妥当なものとなっているか	④	3	2	1
・財務について会計監査が適正に行われているか	④	3	2	1
・財務情報公開の体制整備はできているか	4	③	2	1

①課題

- ・特になし

②今後の改善方策

- ・特になし

③特記事項

- ・特になし

④学校関係者評価委員コメント

- ・特になし

(9) 法令等の遵守

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④	3	2	1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④	3	2	1
・自己評価結果を公開しているか	4	③	2	1

①課題

・結果を真摯に受けとめそれに対応する。

②今後の改善方策

・特になし

③特記事項

・特になし

④学校関係者評価委員コメント

・特になし

(10) 社会貢献・地域貢献

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	③	2
・学生のボランティア活動を奨励・支援しているか	4	③	2	1
・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4	③	2	1

①課題

・コロナ禍の中ボランティア他、実施がむずかしい。

・今はコロナの影響で外での活動が中々難しいので落ち着いたら以前のような活動をしていく。

・ボランティア活動の減少

②今後の改善方策

・実施出来るものは、可能な限り実施、安全安心を忘れずに。

③特記事項

・授業形態からもまた特にコロナ禍ともあり、状況をみでの存続と思われる。

・今年度はコロナ禍の影響でボランティア活動など外部の方との接触を控えた。

④学校関係者評価委員コメント

・特になし